

記者発表（資料配付）				
月／日（曜日） 時間	担当課・係	TEL	発表者名 （担当班長名）	その他配布先
11月16日 （金）	文化財課 文化財班	（内線）5761 （外線）078-362-3783	課長 山下 史朗 （熊谷 久男）	文化庁・神戸市・宝塚市・川西市

## 文化財建造物の登録について（国登録有形文化財）

### 1. 発表概要

国の文化審議会（会長<sup>さとうまこと</sup>佐藤 信）は、平成30年11月16日（金）開催の同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに185件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申を行う予定です。兵庫県内の建造物（17件）の概要について発表します。

### 2. 答申される登録候補物件（17件7箇所）

甲南女子大学管理棟・3号館・渡廊下（神戸市） 3件  
湊川隧道（神戸市） 1件  
日下家住宅主屋・表門・中門・東門（宝塚市） 4件  
栗原家住宅主屋（宝塚市） 1件  
多田神社宝物殿（川西市） 1件  
東多田夢勝庵主屋・土蔵・露地門及び庭塀・長屋門・裏門及び北塀・西塀  
（川西市） 6件  
旧平賀家住宅東屋（川西市） 1件

# 文化財（国登録有形文化財）の登録について

登録される文化財建造物の概要は以下のとおりです。（※下線は用語解説あり）

## ■今回答申される文化財建造物（兵庫県分） 17件・7箇所

### （1）甲南女子大学（こうなんじょしだいがく） 3棟

所在地：兵庫県神戸市東灘区森北町6丁目2-3

特徴等：六甲山地南麓にあるキャンパスの中核施設で、南の管理棟と北の3号館、両館の中央部を南北に貫いて接続する渡廊下からなる。村野藤吾の設計で、管理棟は鉄筋コンクリート造3階建ての1・2階壁面を後退して独立柱を並べ、柱にテーパーをつけて細くみせるなど重量感を抑えたデザインでまとめる。3号館は鉄筋コンクリート造3階建てで、管理棟と共通の造形表現を基調としつつ、片廊下式の均質な教室配置にあわせて変化を加えたデザインで全体を整える。渡廊下は中央部を芝生敷きとして両端に屋根付の階段を通す。管理棟、3号館と一体でキャンパスの基幹部分を構成している。

### （2）湊川隧道（みなとがわすいどう） 1基

所在地：兵庫県神戸市兵庫区会下山町3丁目～湊川町8丁目

特徴等：市中心部北西方の会下山（えげやま）を貫通する我が国最初の河川隧道。馬蹄形（ばていけい）断面の煉瓦覆工（ふっこう）で、側壁はイギリス積み、アーチは長手（ながて）積み、インバートは花崗岩切石敷きとするなど明治時代の建設技術を伝える。

### （3）日下家住宅（くさかけじゅうたく） 4棟

所在地：兵庫県宝塚市切畑字長尾山2-136

特徴等：阪急雲雀丘花屋敷駅北側の住宅地にあり、主屋は敷地中央に東面して建つ。木造2階建て、急勾配の切妻造りの妻を正面とし、正面北半にガラス張りの温室を附属する。外観洋風・内部和洋折衷の郊外住宅で、昭和前期の都市中間層の暮らしを伝える。敷地東南隅の表門は門扉を設けない小ぶりで簡明な門。表門と主屋をつなぐ階段状の通路の中間地点にある中門は洗い出し仕上げの門柱の柱身に切石を市松模様に張る。近代住宅らしい明るく開放的な表構えを形成している。敷地東面の南寄りには通用門である東門を開き、庭木とともに住宅地の街路景観の要素となっている。

### （4）栗原家住宅（くりはらけじゅうたく） 1棟

所在地：兵庫県宝塚市雲雀丘1丁目67

特徴等：阪急雲雀丘花屋敷駅北側の住宅地に建つ。居間や客間を配した南北棟の背面に個室を配した東西棟を連ねた構成で、欧州山荘風の外観が多様な趣向の住宅が混在する景観の構成要素となっている。

(5) **多田神社宝物殿** (ただじんじゃほうもつでん) 1棟

所在地：兵庫県川西市多田院多田所町1

特徴等：多田神社境内前方の参道東脇に建つ。鉄筋コンクリート造の切妻造り平屋建てで、屋根と向拝は木造とする。大正以降戦前に建築された不燃構造・和風意匠の神社宝物殿の好例を示す。

(6) **東多田夢勝庵** (ひがしただむしょうあん) 3棟3基

所在地：兵庫県川西市東多田2丁目647-1

特徴等：猪名川東側にある集落のもと庄屋宅。敷地後方に南面して建つ主屋は入母屋造り平屋建てで、四周に廻した下屋上を大壁として塗り込める。東に土間、西に前後に3室を配し、前列上手に座敷を設ける。主屋の西側に土蔵造り2階建ての家財蔵、主屋の正面に前庭を区切る露地門及び庭塀が建ち、格式ある屋敷構えの中核を形成している。敷地東南隅に平屋建ての長屋門がL字形に建ち、東面と南面に門扉を構えた堂々たる表構えをつくる。敷地境には東北隅に裏門及び北塀、西面南半に西塀が残り、庄屋屋敷の伝統的な構成を伝えている。

(7) **旧平賀家住宅東屋** (きゅうひらがけじゅうたくあずまや) 1棟

所在地：兵庫県川西市下財町41-16

特徴等：市中心部から郷土館に移築した科学者・平賀義美自邸のガゼボ(洋風東屋)。六角形平面の各角に鋳鉄製の円柱を立て、柱間に腰板とガラス欄間を嵌める。上質な意匠をもつ近代住宅の附属施設。

■答申が行われる建造物の概要

<全国>

	新規登録	累計
登録数	185件	12,128件
関係市町村	57市町村(区)	935市町村(区)
関係都道府県	34都道府県	47都道府県

<兵庫県>

	新規登録	累計
登録数	17件(7箇所)	678件(202箇所)
関係市町村	3市	31市町

## 甲南女子大学（こうなんじょしだいがく） 3棟

---

名称：甲南女子大学管理棟（こうなんじょしだいがくかんりとう）

所在地：兵庫県神戸市東灘区森北町6丁目2-3

年代：昭和39年

登録基準：一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

特徴・評価：六甲山地南麓のキャンパス中央に南面して建つ。鉄筋コンクリート造3階建、75mに及ぶ長大な正面の1・2階壁面を後退して独立柱を並べ、柱にテーパーをつけて細くみせるなど重量感を抑えたデザインでまとめる。大学の顔として親しまれる象徴的施設。

備考（調査等）：建築年代は『甲南女子学園創立五十周年記念誌』（昭和47年）による。設計は村野藤吾、施工は大林組。キャンパス全体が村野の構想に基づいて整備されている。北側1スパンは昭和63年の増築（登録範囲外）。

名称：甲南女子大学3号館（こうなんじょしだいがく3ごうかん）

所在地：兵庫県神戸市東灘区森北町6丁目2-3

年代：昭和39年

登録基準：一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

特徴・評価：管理棟の北側に並行して建つ鉄筋コンクリート造3階建の校舎。窓上に設けた長方形枠の高窓など管理棟と共通の造形表現を基調としつつ、片廊下式の均質な教室配置にあわせて変化を加えたデザインで全体をまとめる。管理棟とともにキャンパスの核をなしている。

備考（調査等）：北側1スパンと西側3スパンは昭和61～62年に増築したもの（登録範囲外）

名称：甲南女子大学渡廊下（こうなんじょしだいがくわたりろうか）

所在地：兵庫県神戸市東灘区森北町6丁目2-3

年代：昭和39年

登録基準：一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

特徴・評価：キャンパス中央部を南北に貫通し、管理棟と3号館を接続する鉄筋コンクリート製の階段。中央部を芝生敷として両端に幅2mの屋根付の階段を通す。最下部は幅15mの大階段とする。管理棟、3号館と一体でキャンパスの基幹部分を構成している。

## 湊川隧道（みなとがわすいどう） 1基

---

名称：湊川隧道（みなとがわすいどう）

所在地：兵庫県神戸市兵庫区会下山町3丁目～湊川町8丁目

年代：明治34年／昭和3年増築・平成12年改修

登録基準：三 再現することが容易でないもの

特徴・評価：市中心部北西方に位置する会下山を貫通する我が国最初の河川隧道で、近代神戸の発展を象徴する社会基盤施設。幅7.3m、馬蹄形断面の煉瓦覆工で、

側壁はイギリス積、アーチは長手積、インバートは花崗岩切石敷とするなど明治時代の建設技術を伝える。

備考（調査等）：建設年代は銘板による。昭和3年に上流側を増設、平成12年に両端部を新トンネルの一部として改築した（登録範囲外）。

## 日下家住宅（くさかけじゅうたく） 4棟

---

名称：日下家住宅主屋（くさかけじゅうたくしゅおく）

所在地：兵庫県宝塚市切畑字長尾山2-136

年代：昭和2年頃／昭和20年代・同60年・平成11年改修

登録基準：二 造形の規範となっているもの

特徴・評価：阪急雲雀丘花屋敷駅北側の住宅地にあり、主屋は東斜面を造成した敷地中央に東面して建つ。木造二階建、急勾配で切妻造洋瓦葺の妻を正面とし、正面北半に硝子張の温室を附属する。外観洋風・内部和洋折衷の郊外住宅で、昭和前期の都市中間層の暮らしを伝える。

備考（調査等）：雲雀丘は実業家・阿部元太郎が大正4年に開発を始めた。

名称：日下家住宅表門（くさかけじゅうたくおもてもん）

所在地：兵庫県宝塚市切畑字長尾山2-136

年代：昭和前期

登録基準：一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

特徴・評価：敷地東南隅に建つ。コンクリート製高さ0.7m、角形の門柱を間口1.9mで立て、両脇に袖塀を付す。玉石洗出し仕上で、下端には鉄平石を巾木状に張る。門扉を設けない小ぶりで簡明な門で、近代住宅らしい明るく開放的な表構えを演出する。

名称：日下家住宅中門（くさかけじゅうたくちゅうもん）

所在地：兵庫県宝塚市切畑字長尾山2-136

年代：昭和前期

登録基準：一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

特徴・評価：表門と主屋をつなぐ階段状の通路の中間地点にある。コンクリート製、高さ2.1m、角形の門柱を間口2.1mで立てる。洗出し仕上を基調として、柱身に鉄平石の切石を市松模様に張り、柱頂に灯具を載せるなど主屋正面の構えを華やかに整える。

名称：日下家住宅東門（くさかけじゅうたくひがしもん）

所在地：兵庫県宝塚市切畑字長尾山2-136

年代：昭和20年代

登録基準：一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

特徴・評価：敷地東面の南寄りにある。コンクリート製、高さ1.2m、角形の門柱を間口1.3mで立て、両開きの鉄扉を備える。乱形石張仕上で、内外の地面も乱形

石張とする。前庭の一部をなす通用門で、庭木とともに住宅地の街路景観の要素となっている。

### **栗原家住宅（くりはらけじゅうたく） 1棟**

---

名称：**栗原家住宅主屋**（くさかけじゅうたくしゅおく）

所在地：兵庫県宝塚市雲雀丘1丁目67

年代：昭和前期

登録基準：一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

特徴・評価：阪急雲雀丘花屋敷駅北側の住宅地に建つ。南下りの敷地をいかし、居間や客間を配した南正面の南北棟の背面に個室を配した東西棟を段違いに連ねた立体的な構成とする。欧州の山荘風の独創的な外観で、多様な趣向の住宅が混在する景観の構成要素となっている。

### **多田神社宝物殿（ただじんじゃほうもつでん） 1棟**

---

名称：**多田神社宝物殿**（ただじんじゃほうもつでん）

所在地：兵庫県川西市多田院多田所町1

年代：昭和4年

登録基準：二 造形の規範となっているもの

特徴・評価：猪名川中流の北岸にある境内前方の参道東脇に建つ。切妻造銅板葺の平屋建で、主体部は鉄筋コンクリート造、屋根と切妻造妻入の向拝は木造とする。内部は一室で内装を木造とし、格天井を張る。大正以降戦前に建築された不燃構造・和風意匠の神社宝物殿の好例。

備考（調査等）：建築年代は棟札による。境内は史跡多田院。

### **東多田夢勝庵（ひがしただむしょうあん） 3棟3基**

---

名称：**東多田夢勝庵主屋**（ひがしただむしょうあんしゅおく）

所在地：兵庫県川西市東多田2丁目647-1

年代：江戸後期／昭和10年頃・同44年頃改修

登録基準：一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

特徴・評価：猪名川東側にある集落の旧庄屋宅。主屋は敷地後方に南面して建つ。入母屋造 棧瓦葺の平屋建で軒を出桁造とし、四周に廻した下屋上を塗込めて 虫籠窓を穿つ。東に土間、西の前後に各三室を配し、前列上手に座敷を設ける。伝統的な集落景観の核をなす大型民家。

備考（調査等）：現在は民間会社の保養所として活用されている。

名称：**東多田夢勝庵土蔵**（ひがしただむしょうあんどぞう）

所在地：兵庫県川西市東多田2丁目647-1

年代：明治前期

登録基準：一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

特徴・評価：敷地西北隅に建つ家財蔵。土蔵造2階建、切妻造 棧瓦葺で東面南寄りに扉

口を設ける。外壁は漆喰塗の腰縦板張で、屋根を置屋根状につくり、軒裏まで塗込める。内部は上下階とも板敷で、小屋組は母屋桁上に直接板を張る。屋敷後方の構えを形成している

名 称：**東多田夢勝庵露地門及び庭塀**（ひがしただむしょうあんろじもんおよびにわへい）

所在地：兵庫県川西市東多田2丁目647-1

年 代：江戸後期／明治前期改修

登録基準：一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

特徴・評価：庭塀は敷地前方を東西に区切る、外壁漆喰塗、屋根棧瓦葺の築地塀。長屋門背面の西端から北に延び、主屋手前で東に折れて露地門を開き、北に折れて主屋正面の中央部に接続する。露地門は棟門形式の切妻造杉皮葺である。主屋正面の構えを格調高く整えている。

名 称：**東多田夢勝庵長屋門**（ひがしただむしょうあんながやもん）

所在地：兵庫県川西市東多田2丁目647-1

年 代：文久3年（1863）／昭和10年・同55年頃改修

登録基準：一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

特徴・評価：敷地東南隅に建つ。L字形平面の平屋建、西面入母屋造、北面切妻造の棧瓦葺で、外壁は真壁造漆喰塗の腰縦板張である。折曲り延長40m、東面と南面のほぼ中央に門口を開き、両開き板扉を構え、潜戸を備える。旧家の堂々たる表構えを形成している。

備考（調査等）：建築年代は押入内板壁の墨書による。昭和10年に南面部分を全面的に造替え同55年頃に内部をギャラリーや居室に改修した。

名 称：**東多田夢勝庵裏門及び北塀**（ひがしただむしょうあんうらもんおよびきたへい）

所在地：兵庫県川西市東多田2丁目647-1

年 代：江戸後期

登録基準：一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

特徴・評価：北塀は敷地東北隅を区切る。基礎乱石積、外壁漆喰塗、屋根棧瓦葺の築地塀。敷地東面の北端から緩やかに向きを変えて敷地北面の中ほどまで延び、途中に薬医門形式切妻造棧瓦葺の裏門を設ける。敷地背面の道路に面し、屋敷後方の構えを重厚に整えている。

名 称：**東多田夢勝庵西塀**（ひがしただむしょうあんにしへい）

所在地：兵庫県川西市東多田2丁目647-1

年 代：江戸後期

登録基準：一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

特徴・評価：敷地西面を区切る築地塀。敷地西面南端から中ほどまで延びる。基礎は自然石積、屋根は棧瓦葺、外側は漆喰塗で重厚に仕上げるが、庭に面する内側は粗めの中塗で仕上げ、内外で表情を異にする。旧家の屋敷構えを構成するとと

もに庭の添景の役割も果たしている。

**旧平賀家住宅東屋（きゅうひらがけじゅうたくあずまや） 1棟**

名称：旧平賀家住宅東屋（きゅうひらがけじゅうたくあずまや）

所在地：兵庫県川西市下財町4-1-16

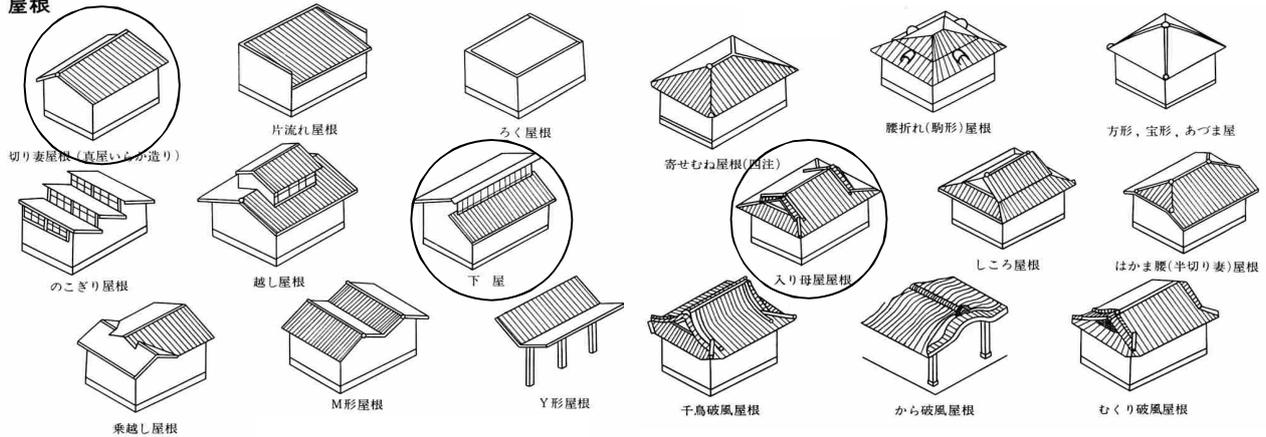
年代：大正8年頃／平成元年移築

登録基準：二 造形の規範となっているもの

特徴・評価：市中心部から移築した科学者・平賀義美自邸のガゼボ（洋風東屋）。六角形平面の各角に鋳鉄製の円柱を立て、六角錐スレート葺の屋根をかける。柱間に腰板と硝子欄間を嵌め、コンクリート洗出しの床面に星形の目地を切る。上質な意匠をもつ近代住宅の附属施設。

備考（調査等）：建築年代は建築時の敷地図と完成披露時の古写真による。平成元年に市が取得し、郷土館に移築した。主屋と研究実験棟も同時に移築しており、平成8年に登録済。

屋根



1 甲南女子大学

■村野藤吾(むらのとうご)  
(1891 - 1984)

建築家。1918年早稲田大学卒業。大阪の渡辺節建築事務所を経て、29年に独立。以後、一つのスタイルにこだわらず、自由な造形活動を行なった。日本芸術院会員、日本建築家協会会長、イギリス王立建築学会名誉会員、アメリカ建築家協会名誉会員。文化勲章(1967)その他多くの賞を受賞。主な作品に広島世界平和記念聖堂(53)、大阪新歌舞伎座(58)、横浜市庁舎(59)、京都都ホテル佳水園(59)、早稲田大学文学部校舎(62)、日本生命日比谷ビル(63)、宝塚カトリック教会(67)、兵庫県立近代美術館(70)、日本ルーテル神学大学(70)、箱根プリンスホテル(78)、新高輪プリンスホテル(82)などがある。  
県内では、2003年に尼崎市立大庄公民館(旧大庄村役場)(尼崎市)(37)が国の登録文化財として登録。

■テーパー

細長い構造物の径・幅・厚みなどが、先細りになっていること。

■片廊下式(かたろうかしき)

共用廊下の片側だけに居室が配置された平面形式のこと。各居室の条件は均質となるが、大きな採光窓や通風窓がとれないデメリットがある。

2 湊川隧道

■馬蹄形(ばていけい)

馬のひづめに似た形。∩の形。

■覆工(ふくこう)

トンネル内側を覆う工程。

■イギリス積み

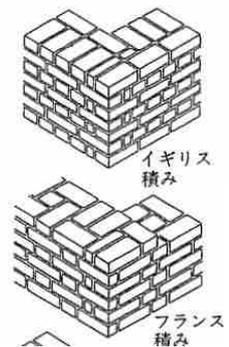
煉瓦の積み方の一つ。長手面と小口面とが段ごとに、交互に見えるようにして積む方法。

■長手積み(ながてづみ)

煉瓦の長手のみを千鳥に積む方式。対して木口積みは短手のみを積む工法。

■インバート

トンネル底面の逆アーチに仕上げられた覆工部分。  
地質が不良な場合などにトンネルの両側側壁基部の間を、逆アーチで結合して、覆工コンクリートを閉合断面として耐力を増加させ、沈下・変状を防止するのが目的。トンネル側壁基部間を結ぶ逆アーチ型のもの。



3 日下家住宅

■切妻造(きりづまづくり)  
→先頭頁図

切妻屋根(棟を頂点としてふたつの傾斜面が合わさって三角形をつくる屋根)をもった建物の形式。

■妻(つま)

そで・わき・端などの側面のことをいい、建物の棟に直角に接する側面を指す。

- 洗出し仕上げ(あらいたしあげ) 左官仕上げの一つ。種石を練り合わせたモルタルを上塗りし、それを洗い出して、自然な風合いを再現しようとするもの。
- 郊外住宅(こうがいじゅうたく) 主に、明治後期から昭和戦前期に掛けて都市部近郊の郊外地を開発して建てられた近代住宅。
- 阿部元太郎(あべげんたろう) 滋賀県出身。近江緞通株式会社社長。日本住宅株式会社社長などを歴任。明治42・43年頃 御影・住吉(観音林・反高林)の土地開発を開始。雲雀丘の開発は大正4(1915)年から始まる。
- 幅木(はばき) 壁面下部の損傷を防ぐため、壁が床に接する部分に床と平行に入れる部材。
- 乱形石張仕上げ(らんがたいしばりしあげ) 不整形の石板を不規則に張った仕上げ。

## 5 多田神社宝物殿

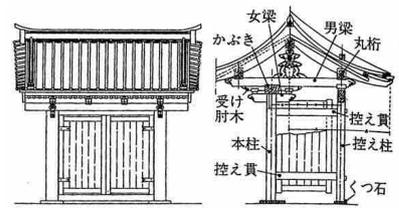
- 切妻造り 3 日下家住宅 に記載
- 銅板葺(どうばんぶき) 銅を圧延した板材を葺材とした屋根葺き仕様。

## 6 東多田夢勝庵

- 入母屋造(いりもやづくり) →上図 寄棟と切妻の結合した屋根形式。
- 下屋(げや) →上図 主屋から差しかけてつくり出した小屋根、またはその下の建物部分。
- 棧瓦葺(さんがわらぶき) 本瓦葺の丸瓦と平瓦を一つにした棧瓦を使った葺き方。葺上げたとき、勾配の下方になる一隅(重ね部)に切込みがある。
- 出桁造(でげたづくり) 腕木・出し梁などの先端の上に桁を取り付けて、庇などの垂木を支える構造。
- 塗込め(ぬりごめ) 下地となる木材を土で塗り被せる工法。
- 虫籠窓(むしこまど) →右図 塗り壁に設けられた格子窓。格子に荒縄を巻き、漆喰などで塗り込め、名前の由来は、虫籠のように見えるからとも言われている。
- 切妻造り 3 日下家住宅 に記載
- 漆喰塗(しっくいぬり) 消石灰に砂・糊・すさ等を混ぜて水で練った材料(漆喰)を塗ったもの。
- 腰縦板張(こしたていたばり) 壁の下部に縦方向に張った板壁。
- 置屋根(おきやね) →右図 壁と屋根を一体に塗り込み、別に草や板の屋根をのせる型式の屋根。蔵に多用される。
- 小屋組(こやぐみ)
- 母屋桁(もやげた) 建物の屋根部分の骨組。棟木と軒桁との間で、これらと平行に配して垂木を支える屋根の部材の一部。
- 築地塀(ついじべい)
- 棟門(むなもん) 泥土をつき固めて作った塀。2本の門柱の上部に冠木を架け渡し、男梁と女梁で桁を受け、板かえるまたで棟木を支え、切妻屋根とした形式の門。
- 杉皮葺(すぎかわぶき) 杉の表皮を屋根葺材として葺いた工法。
- 真壁造(しんかべづくり) 土壁を柱面より少し引込むように塗り上げたもので、柱が外面に向き出しになっている壁。構造部の木材が空気に触れるため、温湿度が調整しやすく、家の耐久性がよいとされる。
- 潜戸(くぐりど)
- 乱石積み(らんせきづみ) →右図 壁や戸に開けられた小さな出入り口。不揃いの石を不規則に積む石積み方法。



- 薬医門形式(やくいもん 主柱と控え柱の計4本の柱の上に梁などを組み合わせ、その上に切妻屋根を組み合わせた形式の門。  
けいしき)→右図
- 中塗(なかぬり) 左官工事や塗装工事において、下塗りと上塗りとの間に塗る層。中塗仕上げは、上塗りを行わずに仕上げる方法。



## 7 旧平賀家住宅東屋

- 郷土館(きょうどかん) 川西市郷土館。銅の製錬を業としていた旧平安家住宅(国登録)を利用して、昭和63年(1988年)11月に開館、ついで平成2年11月には、川西市内にあった洋館の旧平賀家住宅(国登録)を移築復元。
- 平賀義美(ひらが よしみ)(1857- 1943) 日本の応用化学者。イギリス・オーエンス大学に留学し、有機化学と染色を学ぶ。農商務省技師、大阪府立商品陳列所長、大阪実業協会会長など歴任。
- スレート葺 スレートと呼ばれる平板の葺材を使った工法。粘板岩を用いた天然スレートと、人工的に作られた住宅屋根葺き用スレートがある。
- 洗出し(あらいだし) 3 日下家住宅 に記載

兵庫県为国登録有形文化財 件数・箇所数

平成30年11月16日 答申まで

No.	市町名	件数			箇所数		
		登録件数	抹消件数	現在件数	登録箇所数	抹消数	現在数
1	豊岡市	107		107	21		21
2	<b>神戸市</b>	111	15	<b>96</b>	60	6	<b>54</b>
3	姫路市	62	1	61	14	1	13
4	朝来市	53	9	44	12	1	11
5	尼崎市	42		42	10		10
6	加古川市	36		36	8		8
7	篠山市	32		32	5		5
8	<b>川西市</b>	28		<b>28</b>	5		<b>5</b>
9	猪名川町	28		28	2		2
10	三木市	21		21	4		4
11	丹波市	18		18	6		6
12	西宮市	21	5	16	7	1	6
13	加東市	16		16	4		4
14	加西市	20	6	14	6	1	5
15	<b>宝塚市</b>	15	1	<b>14</b>	8	1	<b>7</b>
16	たつの市	12		12	4		4
17	西脇市	12		12	2		2
18	南あわじ市	11		11	3		3
19	洲本市	11		11	2		2
20	高砂市	10		10	8		8
21	佐用町	9		9	1		1
22	明石市	7		7	6		6
23	芦屋市	6		6	4		4
24	福崎町	5		5	2		2
25	新温泉町	5		5	1		1
26	香美町	4		4	1		1
27	神河町	4		4	1		1
28	三田市	3		3	2		2
29	多可町	3		3	2		2
30	太子町	2		2	1		1
31	淡路市	1		1	1		1
合計		715	37	<b>678</b>	213	11	<b>202</b>

※ゴチックは今回関係市

都道府県別登録有形文化財(建造物)登録数 11月16日答申分含む

都道府県	登録数	都道府県	登録数
大阪	723	福島	200
<b>兵庫</b>	<b>678</b>	島根	199
京都	570	福井	196
長野	530	秋田	194
愛知	513	徳島	186
新潟	472	山形	181
香川	410	埼玉	175
滋賀	405	熊本	170
東京	390	宮城	159
群馬	336	福岡	154
岡山	317	北海道	144
茨城	296	山梨	133
高知	283	富山	132
千葉	277	長崎	130
奈良	270	愛媛	127
石川	263	鹿児島	120
岐阜	262	佐賀	108
三重	256	青森	103
神奈川	255	宮崎	102
広島	251	山口	101
和歌山	243	岩手	91
栃木	239	沖縄	82
鳥取	239	2県にまたがる物件	-2
静岡	235	合計	12,128
大分	230		

甲南女子大学(神戸市教委提供)※本写真を掲載の際は、「撮影者 新建築写真部」と記載ください。



01 甲南女子大学 キャンパス全景外観(南面)

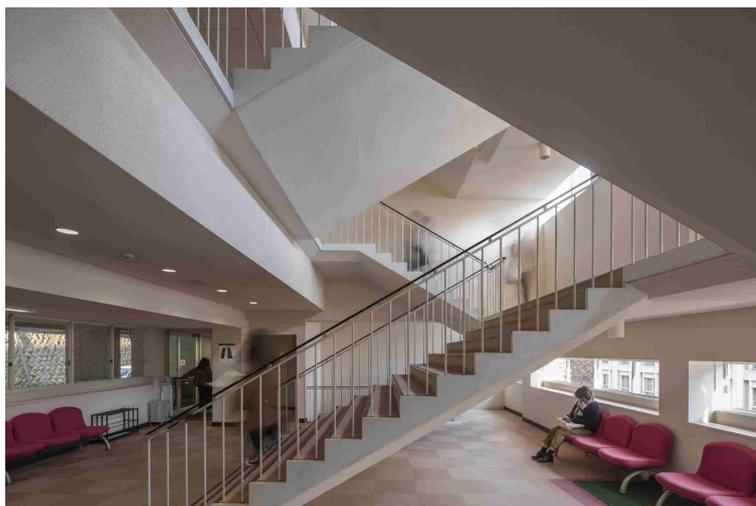


02 甲南女子大学 管理棟全景外観(南面)



04 甲南女子大学 3号館正面外観(南面・南西より)

甲南女子大学(神戸市教委提供)※本写真を掲載の際は、「撮影者 新建築写真部」と記載ください。

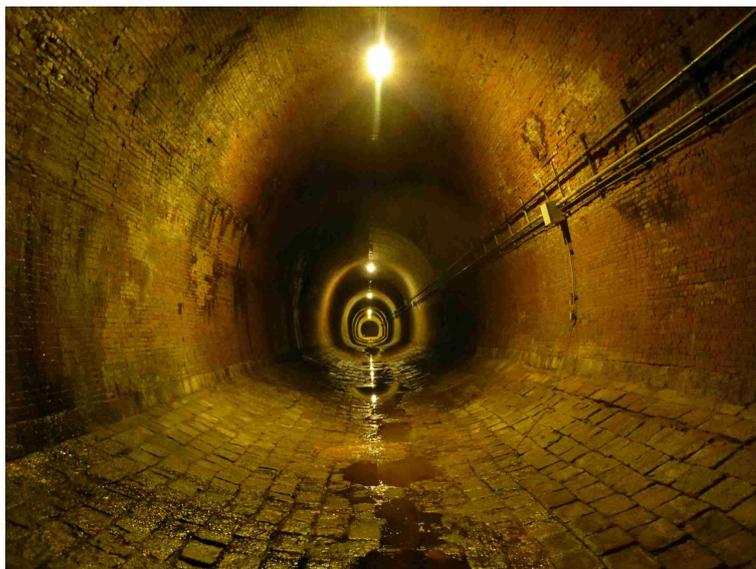


05 甲南女子大学 3号館内部階段



06 甲南女子大学 渡廊下正面外観(3号館を望む)

湊川隧道(兵庫県教委提供)



01 湊川隧道 内部1



02 湊川隧道 内部2

日下家住宅(宝塚市教委提供)



01 日下家住宅 中門門柱



02 日下家住宅 主屋正面(南面)



03 日下家住宅 玄関ポーチを南より見る

栗原家住宅(宝塚市教委提供)



01 栗原家住宅 主屋(南面)

多田神社宝物殿(川西市教委提供)※本写真を掲載の際は、”撮影者 足立裕司”と記載ください。



01 多田神社宝物殿 宝物殿正面

東多田夢勝庵(川西市教委提供)

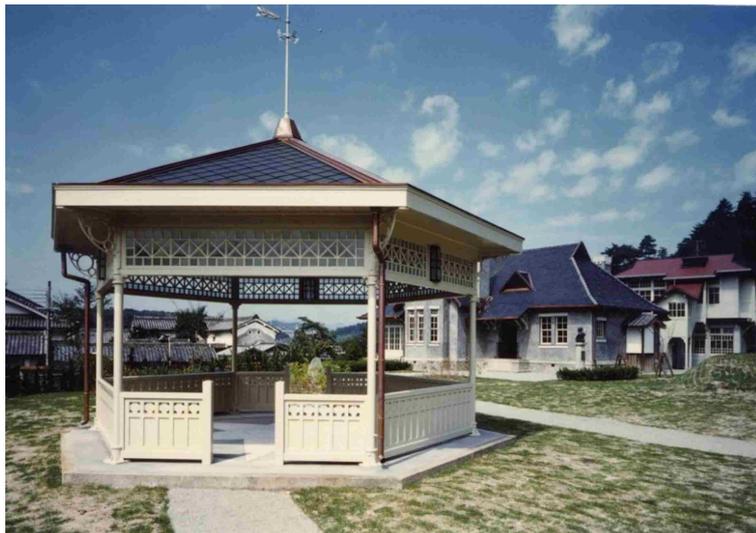


01 東多田夢勝庵 主屋正面



02 東多田夢勝庵 主屋 座敷床の間廻り

旧平賀家住宅(川西市教委提供)※本写真を掲載の際は、「撮影者 足立裕司」と記載下さい。



01 旧平賀家住宅 東屋から主屋と研究実験棟をみる(移築後)



02 旧平賀家住宅 東屋天井見上げ